

平成 26 年度 施策評価シート

基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	2. 総合計画に基づいた政策マネジメントの推進
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想を実現するためのマネジメント力を高める必要があることから、長期的な視点にたった戦略的でわかりやすい行財政運営に努めます。</li> <li>住みやすいまちづくりを推進するため、町民が安心して住み続けられる環境づくりや、定住者を迎え入れるための対策、農業や漁業等の地域経済振興等に取り組みます。</li> <li>職員研修などによりコーディネーターとしての職員の能力の向上や政策・法務能力の充実に努めるとともに、行財政改革を推進し、「自治体経営の力」の向上を図ります。</li> </ul>

基本計画(分野別方針) 事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 農・海・里山のあるまちづくり	1	B
(2) 農・漁・商・工・民連携	1	B
(3) 適切な土地利用の推進	1	B
(4) 二宮町第2次環境基本計画実施計画の適切な運用	1	A
(5) 公助活動と危機管理体制の強化	1	B
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の各課の行動マニュアル及びBCP(事業継続計画)の作成が必要となる。</li> <li>総合計画に基づき、土地利用や住環境の向上に関する制度の見直しが必要となる。</li> <li>農業や漁業等の就業者の高齢化、担い手不足が深刻化しているため、産業活性化に向けた制度の見直しが必要となる。</li> </ul>	

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する                  B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する                  C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある                  D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
	説明	<p>・町民・事業者・町が一体となり、各計画に基づき目標に向かって推進しているが、課題も多くあるため、今後も総合計画に基づき事業を推進していく必要がある。</p>
	方向性	<p>・総合計画の重点的方針を構成する実施計画事業を毎年度ローリングシステムにより見直し、各種計画事業を推進していく。</p>

◎最終評価者[庁内評価委員会]

<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する                  B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する                  C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある                  D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
意見等	<p>「総合計画に基づいた政策マネジメントの推進」の項目の内、【農・漁・商・工・民連携】                  1) 産業活性化推進事業(NO.87) については、ブランドの推進と関連性があるため、                  【「二宮ブランド」の開発と活性化】の「魅力ある二宮ブランドづくりの推進」への項目移動が適当である。事業については、第5次総合計画に基づいた政策推進を図り、ローリングシステムによる見直しを行い、進行管理をする必要がある。                  また、住みやすいまちづくりを推進するため、環境・防災・農業漁業等の地域経済振興をはかる必要がある。</p>